| 長野工業高等専門学校 | 開講年度 | 令和04年度 (2022年度) | 授業科目 | 日本社会史 |
|---|---|---|---|---|

## 科目基礎情報

| | | | |
|---|---|---|---|
| 科目番号 | 0054 | 科目区分 | 一般 / 必修選択 |
| 授業形態 | 授業 | 単位の種別と単位数 | 学修単位: 2 |
| 開設学科 | 一般科 | 対象学年 | 4 |
| 開設期 | 前期 | 週時間数 | 2 |
| 教科書/教材 | 教科書：プリントを配布する．参考書：授業で随時紹介する． | | |
| 担当教員 | 二星 潤 | | |

## 到達目標

授業の内容と配布資料の情報を関連づけて理解した上で，論述問題をまとめることができることにより，学習・教育目標の（A-1）の達成とする．

## ルーブリック

| | 理想的な到達レベルの目安 | 標準的な到達レベルの目安 | 未到達レベルの目安 |
|---|---|---|---|
| 1，授業の内容と配布資料の情報を関連づけて理解できる． | 資料の意義を解説することができる． | 資料を正しく読むことができ，内容も説明できる． | 資料の内容を説明できない． |
| 2．授業の内容について，論述問題をまとめることができる． | 歴史的な諸問題を現代の諸問題と関連付けて論述できる． | 歴史的な諸問題について，授業の内容をまとめて論述できる． | 授業の内容について，論述できない． |

## 学科の到達目標項目との関係

## 教育方法等

| | |
|---|---|
| 概要 | 近代以前の日本社会の特色についての認識を深めることにより，歴史的思考力を培う． |
| 授業の進め方・方法 | ・授業方法は講義を中心とする．<br>・適宜，レポート課題を課すので，期限に遅れず提出すること．<br><br>なお，この科目は学修単位科目であり，授業時間30時間に加えて，自学自習時間60時間が必要である．事前・事後学習として課題等を与える． |
| 注意点 | ＜成績評価＞期末試験（70%）とレポート（30%）で（A-1）を評価し，6割以上の得点で合格とする．<br>＜オフィスアワー＞ 木曜日 16:00 ～ 17:00，管理・一般科棟3F西　二星潤教員室<br>＜先修科目・後修科目＞先修科目は現代社会となる． |

## 授業の属性・履修上の区分

| | | | |
|---|---|---|---|
| □ アクティブラーニング | □ ICT 利用 | ☑ 遠隔授業対応 | □ 実務経験のある教員による授業 |

## 授業計画

| | | 週 | 授業内容 | 週ごとの到達目標 |
|---|---|---|---|---|
| 前期 | 1stQ | 1週 | 社会史の学び方 | 日本社会史を学ぶ目的を考える． |
| | | 2週 | 縄文時代の社会 | 考古資料から縄文時代の社会を考察する． |
| | | 3週 | 農耕社会の成立 | 水稲耕作の開始が日本社会に与えた影響を知る． |
| | | 4週 | 平城京と地方社会 | 律令体制の整備と地方社会の関わりを考察する． |
| | | 5週 | 平安貴族の社会 | 平安貴族の特色について理解する． |
| | | 6週 | 古代仏教と社会 | 古代仏教が日本社会に与えた影響を知る． |
| | | 7週 | 院政期の社会 | 院政期の社会の特徴を理解する． |
| | | 8週 | 中世の武士社会 | 中世の武士の生活について考察する． |
| | 2ndQ | 9週 | 中世社会の変動 | 商工業の発達による社会の変動を知る． |
| | | 10週 | 武家社会の成長 | 諸産業の発達による社会の多様な展開を理解する． |
| | | 11週 | 近世の社会 | 近世の社会の特徴を理解する． |
| | | 12週 | 近世の都市 | 近世の都市構造について考察する． |
| | | 13週 | 近世の地域社会 | 近世の地域社会の運営について知る． |
| | | 14週 | 近世社会の変容 | 近世社会の変容が与えた影響を考察する． |
| | | 15週 | 前期末達成度試験 | |
| | | 16週 | 授業のまとめ | 日本社会とは何かを考える． |

## 評価割合

| | 試験 | 小テスト | 平常点 | レポート | その他 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 総合評価割合 | 70 | 0 | 0 | 30 | 0 | 100 |
| 配点 | 70 | 0 | 0 | 30 | 0 | 100 |